

看護師39年
元グループホーム所長

“命の平等”が、政治活動の原点 北川まち子を市議会に

くらしに悲鳴が！
アンケートなどで
寄せられた声・声

「年金生活者にとって、消費税増税は厳しい。」
(70代・女性)

「資格持っているのに『6ヶ月契約』の仕事しかなくて悔しい」
(20代・女性)

「医療費の負担が高すぎて困っている」
(70代・年金生活・男性)

私 決意

北川まち子

私は、白田秋也議員とバトンタッチして日本共産党の議席を引き継ぐ決意を致しました。どうぞよろしくお願いたします。

私は、「命と暮らしを守る」を原点に、「命の平等」をかかげ、39年間医療や介護の現場で働いてきました。その経験を活かして医療や介護の課題に取り組みたいと思っています。

これまで訪問のなかでお聞きしたこと、アンケートに寄せられた声は、暮らしがとて大変になってきているという切実な声です。それなのに、年金は下がる・消費税は上がる…では、命までもが脅かされます。

この弱い者いじめの政治を、いっしょに変えましょう。

市独自でも、不況対策も福祉や暮らしの応援もできます。私は、白田秋也議員の活動を引き継ぎ、みなさんの声をきちんと市政に活かすためにがんばります。

北川まち子は提案し 実現にがんばります

国保税 年2万円 引き下げ

国保基金の活用でできます

いま、国民健康保険会計には、「基金」が4億3千万円余（昨年度決算）あります。このうち1億円余を活用すれば、年1人2万円の引き下げを実施できます。（4人家族なら8万円）

市独自の福祉施策としてできます

「保険料とられて介護サービスうけられず、にしないために、収入の少ない方への援助制度を実際に使える制度に改善を求めます。」

介護保険 市の利用料助成制度の 抜本改正を提案します

仕事・雇用 若者に希望を

ワーキングプアをなくしましょう

市役所の職員は269人（2013年3月末）。その31%にあたる84人が臨時や非常勤です。まず市の職員から、「ワーキングプア」をなくしましょう。

るんるんバス 12月から大幅改善に！

北川まち子の調査と改善申し入れが実る

4月に改正された「るんるんバス」のコースや運賃に、「乗車時間が長すぎる」「トイレが我慢できない」などたくさんの苦情が寄せられ、北川まち子は実態調査をして白田市議とともに市長に改善を申し入れました（5月2日・写真）。

このほど市が、改善計画を発表。12月から5コースに戻し、バスを1台増やして「市内循環コース」をつくって連結する、という内容です。



志賀原発は廃炉に

自然エネルギー開発で地域に新たな仕事・雇用を！

▶ 市民が共同で「太陽光発電所」などを設立することを推奨・支援していけば、新たな雇用も生み出せます。

▶ 住宅用太陽光発電システム設置補助金の増額を

	1kWあたり	上限
羽咋市	4万円	16万円
七尾市	5万円	20万円
輪島市	7万円	30万円